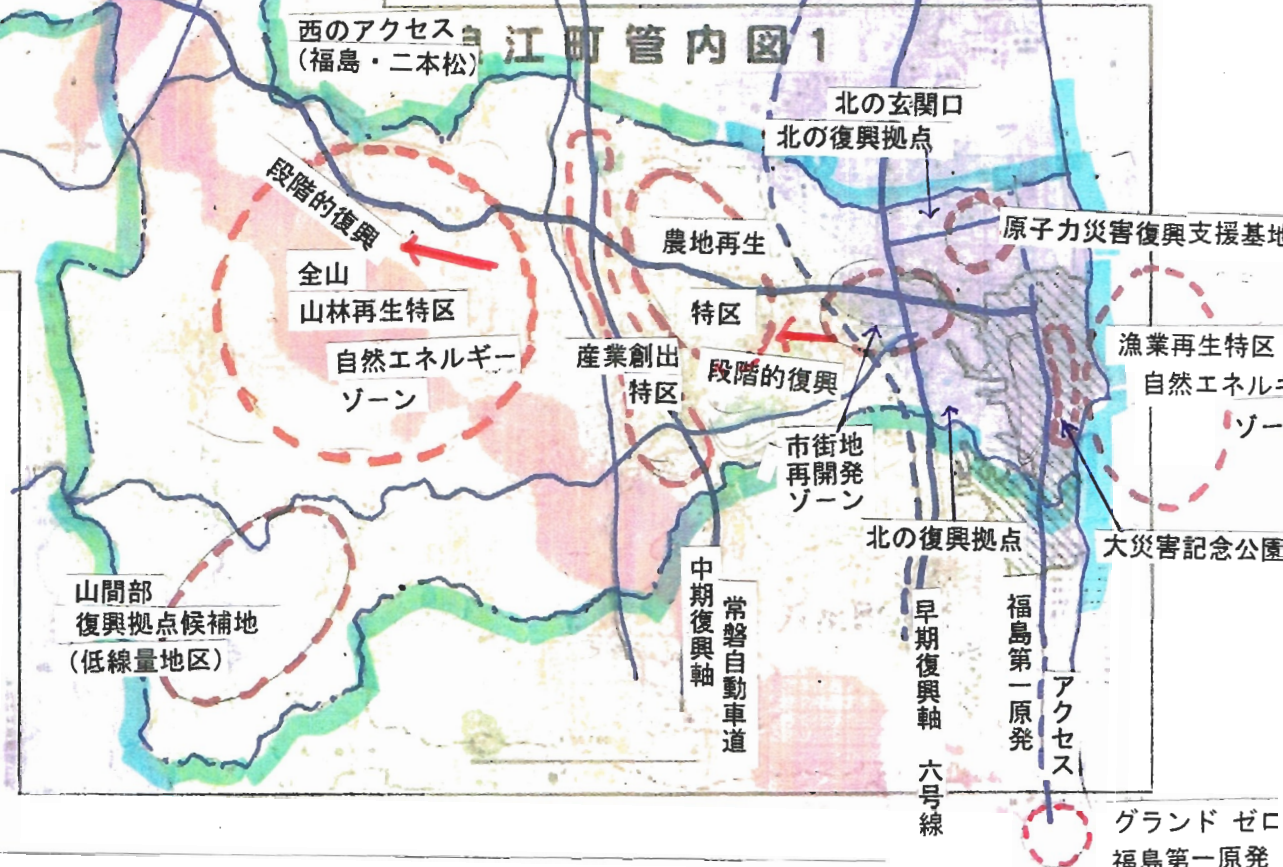
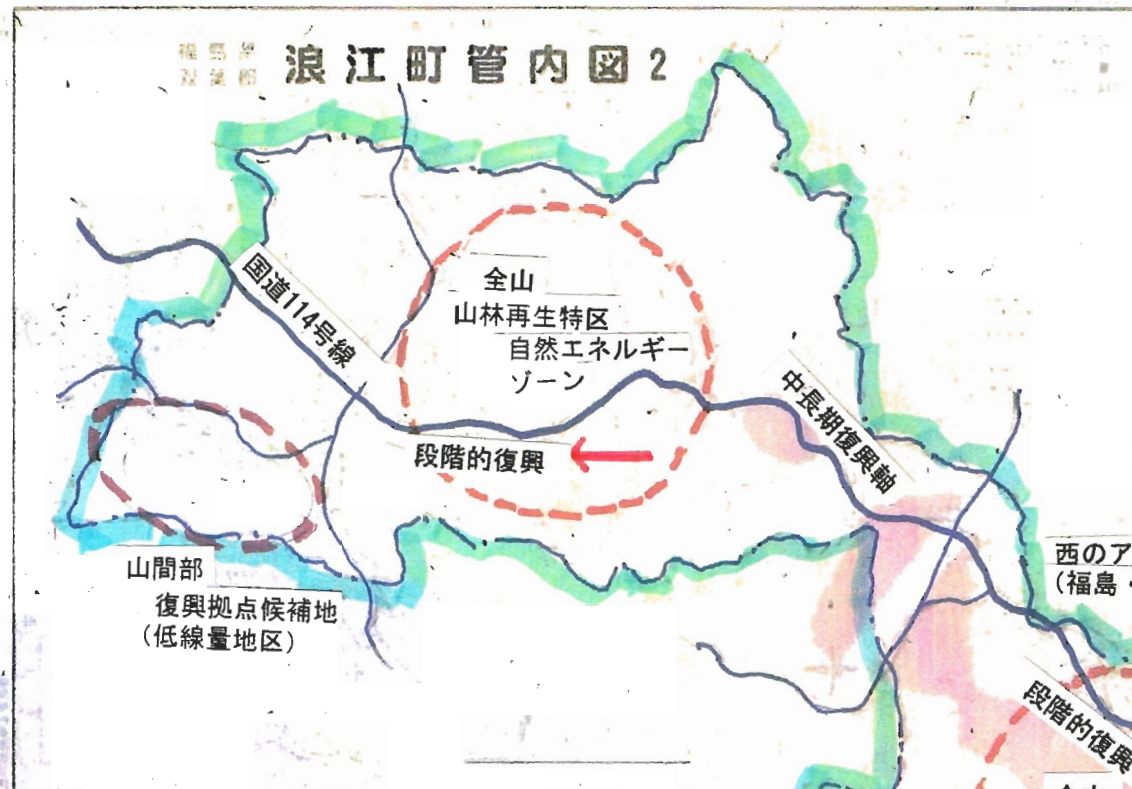


浪江町復興まちづくり計画(提案) グランド デザインⅡ 全体計画

浪江町放射線減衰予測地図(自然減衰)
2013(平成25)年3月



復興庁発表「空間線量率の予測2013年3月」を元に作成。現地における実測値とは異なります。

□ 基本的方向性

- ・町全体を特区的措置によって復興再生を加速させる。
- ・町全体(郡含めて)を第一原発にとってかわる電力立地とする。
- ・山間部においては、比較的低線量地域におけるクリーン化を優先し居住可能地域を早期に創出する。

山林再生特区

- 山林クリーン事業
 - ・除染
 - ・バイオマス発電事業(バイオマスタウン構想等)
 - ・植林
- 等の事業を特区的措置のもとに早期の自然環境回復事業を行う。

農業再生特区

- 農地のクリーン化及び農業再開再生事業を特区的措置のもとに行う。
- 太陽光発電事業等も含め地域等財政に資する。

漁業再生特区

- 海岸、海洋部のクリーン化及び港湾事業、漁業再開事業を特区的措置のもとに行う。
- 海洋大型風力発電事業も含め財政に資する。

産業創出特区

- 常磐道のポテンシャル(潜在的能力)を利用し特区的措置により新たな産業を創りだし集積する。
- メガソーラー事業も含め財政に資する。

山間部自然エネルギーゾーン

- 高濃度汚染の山間部においては、基本的に無人においても生産(電力)活動の可能な(大型)風力発電事業を行い財政に資する。